

小児思春期発達【Stage 1】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

- ・ 小児を診療するのに必要な基礎知識・技能・態度を修得する。
- ・ 新生児から乳幼児、小児、思春期、時に成人までを対象とし、それぞれの発達と障害特性を学ぶ。
- ・ 健康と病気の認識法と処置法を体得する。
- ・ 健康児あるいは病児の成長と発達の重要性を理解する。
- ・ 小児の理学的診察法を実施できる技術を体得する。
- ・ 適切な既往歴、発達歴、家族歴などの病歴を聴取できる。
- ・ 家庭や社会背景が、健康と疾病に関連して重要であることを理解する。
- ・ 予防（特に予防接種）、栄養管理、事故の防止の重要性を理解する。
- ・ 遺伝と環境の関係について示すことができる。
- ・ 小児の障害についてと、その改善に役立つサービスについて見学し、理解する。
- ・ 小児の common disease と小児救急・時間外診療の実態を実地医家の指導の下で体験実習する。
- ・ 地域の小児科クリニックの乳幼児健診、予防接種を見学する。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

- ・ 実習第1日の朝は9:15に東病棟4階小児科カンファレンス室にてオリエンテーションを行う。
- ・ 原則として8:30～17:00の間は、指導医や外来医と行動をともにする。ただし、指導医の受け持ち患者の容態や病棟カンファレンスによって時間を延長する場合がある。
- ・ 受け持ち患者に関する教科書を読み、可能なら、主治医、指導医の指導の下、世界の先端医療、科学の一端を英文ジャーナルにて触れる。
- ・ 外来研修では、初診、小児科再来、専門外来に陪席し研修する。
- ・ 外来研修、クリニック研修：小児疾患の多くはいわゆるcommon diseaseであり、これらの疾患を経験することにより子どものプライマリケアを学習する。

3. 実習上の注意事項

- ① 時間厳守 ② 所在の明確化 ③ 言動、身だしなみに気をつける。
- ・ 咳嗽、鼻水、下痢、発熱等の感染症罹患時は実習参加を禁止とする。

4. 「医学生の実習における医療行為と水準」の例示

1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき行為

- ・ 全身の視診、打診、触診、バイタルサインチェック
- ・ 簡単な器具(聴診器、打腱器、耳鏡、血圧計など)を用いる全身の診察
- ・ 末梢血塗抹標本、尿検査などの検体検査
- ・ 発達テスト ・ 呼吸機能検査 ・ 心電図検査
- ・ 体位交換、ビン授乳、おむつ交換

2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される行為

- ・ 検査の鎮静 ・ アレルギー検査 ・ 皮膚消毒、包帯交換
- ・ 外用薬貼布、塗布 ・ 気道内吸引、ネブライザ ・ 導尿、浣腸 ・ 抜糸、止血
- ・ 作業療法 ・ 胃管挿入 ・ 注射(皮内、皮下、筋肉、静脈) ・ 輸血
- ・ 超音波検査 ・ 脳波検査 ・ 小児の採血 ・ 腰椎穿刺手技
- ・ カルテ記載 ・ 患者および家族への病状説明
- ・ 気道確保、気管内挿管 ・ 胸骨圧迫、電氣的除細動

2024-2025年度 大分大学医学部5年生 小児科臨床実習（Stage1）

1週目Aコース¹⁾

1週目	午前						午後							
	8:30	9:00	9:15	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
月			オリエン テーション ²⁾	NICU実習/新生児蘇生法実習		昼休憩		NICU実習		入院症例検討会		循環器レクチャー		NICU実習
火	学外クリニック実習 (概ね9:00-17:00 (昼休みを含む) ですが、各施設の診療に合わせてください)													
水														
木	勉強会	NICU実習			新生児健診	昼休憩	NICU実習							
金	朝カンファ				NICU試問									
	フォローアップ外来実習													周産期 カンファ ³⁾

1週目Bコース¹⁾

1週目	午前						午後							
	8:30	9:00	9:15	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
月			オリエン テーション ²⁾	NICU実習/新生児蘇生法実習		昼休憩		入院症例検討会		循環器レクチャー				
火	抄読会 ⁴⁾	NICU実習			新生児健診		乳児健診外来実習		NICU実習					
水	朝カンファ													
木	学外クリニック実習 (概ね9:00-17:00 (昼休みを含む) ですが、各施設の診療に合わせてください)													
金														

2週目A,Bコース共通¹⁾

2週目 (病棟)	午前					午後							
	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
月	朝カンファ	病棟オリエンテーション	病棟実習/外来実習			昼休憩	病棟実習	病棟回診		発達レクチャー@医局			
火	抄読会 ⁴⁾						感染アレルギーリウマチ レクチャー@医局	腎臓レクチャー@CR	腰椎穿刺実習@CR	病棟実習			
水	朝カンファ						神経レクチャー		血液カンファ/血液腫瘍 レクチャー	神経カンファ			
木	勉強会						病棟実習	血液レクチャー@CR	救急レクチャー@	病棟実習			
金	朝カンファ	教授総括@CR						内分泌レクチャー@CR		学生発表会@CR			

- 1) 1週目は、2-3人ずつ2つの班（AとB）に分かれて実習する。
2週目は全員共通のコースです。
- 2) 小児科実習初日は、全員、**午前9:15に4東病棟小児科カンファレンス室**に集合。
初日の午後の**入院症例検討会冒頭**で自己紹介をしてもらいます。
- 3) 16:30- 産婦人科カンファレンス室で開催
- 4) 火曜朝の集合時間は、前日に指導医から指示をもらってください。帝王切開がある日や抄読会がない日もあります。
- ※「CR」は小児科病棟カンファレンス室、「医局」は研究棟7階の小児科医局です。

学外外来小児科実習施設

1. わかやまこどもクリニック 若山幸一先生
2. かわのこどもクリニック 川野達也先生
3. 大分こども病院 藤本保先生、久我修二先生
4. 石和こどもクリニック 石和翔先生
5. たまい小児科 玉井友治先生
6. やまだこどもクリニック 山田博先生
7. かなや小児科 金谷能明先生
8. 大川小児科・高砂 藤田桂子先生
9. せきぐち赤ちゃんこどもクリニック 関口和人先生

小児科クリニカルクラークシップ Stage1スタンブラリー (2024～2025)

Ver.1

学籍番号: _____ 氏名 _____ 実習期間: 月 日～ 月 日

- ☐ Stage1はスタンブラリー制です。実習中はプリントアウトして常備し、**70点以上**の取得を目指してください。
- ☐ 1週目はNICU/クリニック実習、2週目は一般病棟/外来実習で、学内は指導医が許可すればどこでも実習可能です。
- ☐ 外来見学は病棟の指導医に相談して、外来担当医に事前許可をもらってください。
- ☐ A項目の病棟患者のプレゼンテーションは、最終日の学生発表会で**1人5分以内**で行います。
- ☐ A項目のNICUとクリニック実習レポートは規定のレポート様式があります (提出のみ/発表不要)。
- ☐ AとC項目は自分でチェックする。B項目は**担当医のサインが必要**です。

A項目 (5-10点) 小計 /40点

- ☐ 新生児蘇生法に合格 (前田/井上)_10点
- ☐ NICU実習のレポート (前田/井上)_5点
- ☐ クリニック実習のレポート_10点
- ☐ 腰椎穿刺実習に参加する_5点
- ☐ 病棟患者のプレゼン/レポート (各指導医)_10点

B項目 (各2点) ミニレクチャー/試問/問題 小計 /18点

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| 発達レクチャー (井原) | ☐ _____ (署名) |
| 感染症・アレルギー・リウマチ (脇口) | ☐ _____ (署名) |
| 循環器レクチャー (岸本) | ☐ _____ (署名) |
| 腎臓レクチャー (清田) | ☐ _____ (署名) |
| 内分泌レクチャー (糸永) | ☐ _____ (署名) |
| 神経レクチャー (小林) | ☐ _____ (署名) |
| 血液腫瘍レクチャー (後藤) | ☐ _____ (署名) |
| 救急レクチャー (玉井) | ☐ _____ (署名) |
| 新生児室 (井上/河野) | ☐ _____ (署名) |

C項目 (各1点) 体験/経験 小計 /42点

- ☐ 自己紹介の時、名前/出身/部活以外でもアピールする
- ☐ 分娩に立ち会う (帝王切開/経陰分娩)
- ☐ Apgar scoreをつける (出産ない時は模擬人形で)
- ☐ 担当ベビーの診察を指導医と行う
- ☐ 新生児の採血やマススクリーニングの見学や介助を行う
- ☐ 授乳や沐浴の見学/可能であれば実際に体験する
- ☐ 新生児健診を見学する
- ☐ 新生児のバイタルサインを評価する
- ☐ 新生児の脳エコーなど超音波検査を見学する
- ☐ 新生児の呼吸障害の徴候を学習する
- ☐ 新生児の呼吸器管理を見学して適応を知る
- ☐ 外来/クリニックで咽頭診察を指導医と一緒に診る
- ☐ 外来/クリニックで血液/迅速検査を見学する
- ☐ 外来/クリニックで予防接種を見学する
- ☐ 外来/クリニックで乳幼児健診を見学する

C項目 (各1点) 体験/経験つづき

- ☐ 外来/クリニックで聴診診察を指導医と一緒にを行う
- ☐ 病児保育/院内学級/リハビリのいずれかを見学する
- ☐ 大学の専門外来を1か所以上見学する
- ☐ 大学の専門外来で1つ以上質問する
- ☐ カンファ(新生児/血液/神経/内分泌/CPT)に参加する
- ☐ 病棟患者の一般診察を指導医と一緒にを行う
- ☐ 病棟患者/家族から病歴聴取をしたり話し相手になる
- ☐ 病棟患者/家族から家族背景や生活歴を聴取する
- ☐ 病棟患者の好きな食べ物や趣味嗜好を聴取する
- ☐ 手指衛生やマスク・手袋着用など感染防御を実践する
- ☐ 病棟患者の検査結果を指導医と評価する
- ☐ 病棟患者の診断の根拠について指導医に質問する
- ☐ 病室やプレイルームで遊んだり勉強を教える
- ☐ 採血や点滴確保の見学/介助する
- ☐ 小児用の採血管を把握する
- ☐ 処置時の感染予防対策や消毒や消毒後の清拭を体験する
- ☐ 処置時にチームメンバーとして積極的に参加する
- ☐ 鎮静担当の記録補助として参加する
- ☐ 処置後の検体処理や骨髄スメアを見学する
- ☐ 患者搬送/病床移動にチームメンバーとして参加する
- ☐ 病棟や処置室の整理整頓に協力する
- ☐ 英語論文のAbstractを読み、指導医へ報告する
- ☐ 患者・家族・スタッフに挨拶する
- ☐ 遅刻欠席せずに実習に参加する
- ☐ ミニレクチャーで1つ以上質問する
- ☐ 学生発表会で1つ以上質問する
- ☐ 指導医評価をフォームに入力する

全体合計(A+B+C)= /100点

合計点数を確認してサインする→ 指導医 _____

病棟指導医による小児科クリニカルクラークシップ Stage1評価表

学籍番号: _____ 氏名 _____ 実習期間: 月 日 ~ 月 日

以下の項目で適当と思われる評価を□欄に記載してください。(最終日の発表会後に記入)

1. 出席の評価

- ☐ 正当な理由のある欠席を除き、全日程に出席した。
- ☐ 無断欠席(早退・離脱)などが1回あった。
- ☐ 無断欠席(早退・離脱)などが2回以上あった。

2. 実習中の身だしなみ・態度・動作・言葉づかい等

- ☐ S(90点) ☐ A(80点) ☐ B(70点) ☐ C(60点) ☐ 不可

3. CC-EPOC項目

	臨床実習 開始前の レベル	臨床実習 開始時の レベル	臨床実習の 中間時点で 期待される レベル	臨床実習 修了時 (卒業時) のレベル	臨床研修の 中間時点で 期待される レベル	観察機会 なし
① プロフェッショナリズム(医の倫理と生命倫理・患者中心の 視点・医師としての責務と裁量権)	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □
② 医学知識と問題対応能力 (課題探求・解決能力・学修の在り方)	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □
③ 診療技能と患者ケア	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □
④ コミュニケーション能力 (コミュニケーション・患者と医師の関係)	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □
⑤ チーム医療の実践	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □
⑥ 医療の質と安全の管理(安全性の確保・医療上の事故等への 対処と予防・医療従事者の健康と安全)	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □
⑦ 社会における医療の実践 (地域医療への貢献・国際医療への貢献)	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □
⑧ 科学的探究 (知識を基にした考察・EBMの実践)	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □
⑨ 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 (生涯学習への準備)	1 □	2 □	3 □	4 □	5 □	— □

4. 自由記載

年 月 日

評価者氏名

指導医 _____

指導責任者 _____